

2025 年度「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)スキルアッププログラム」

履修生願書(1-1)

東北学院大学

ふりがな			性別	【写真貼付欄】 ①脱帽 ②3ヶ月以内に撮影したもの ③写真の裏面に氏名を記入してから貼付のこと ④縦4cm×横3cm
氏名			男・女	
生年月日	年 月 日 (満 歳)	※本籍・国籍 都 道 府 県 (国籍は外国籍の方のみ記入)		
電 話	自宅 () 携帯 ()			
現住所	〒 -			
E-mail				
(高等学校から記入) 学 歴	在 学 期 間	学 校 名 (学部学科等まで記入)	卒業・修了・退学	
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
(直近のものから順に記入) 職 歴	在 職 期 間	勤 務 先 名	所 在 地 (都道府県・市区町村まで記入)	
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
志 望 理 由				

2025 年度「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)スキルアッププログラム」履修生願書(1-2)

選択科目の履修希望については、受講決定後に申請していただきます。
2025 年 4 月及び 5 月は必修科目のみ開講の予定です。

分類	科目名	時間	担当講師 (所属等は 2025 年 1 月時点で確定している最新情報)	
基礎科目	ガイダンス	1.5	渡邊圭 (東北学院大学情報学部講師)	
	地域福祉の時代とコミュニティソーシャルワーク	3	阿部重樹 (学校法人東北学院常任理事 (総務担当))	
	コミュニティソーシャルワーク I	3	村山くみ (東北福祉大学総合福祉学部准教授)	
	コミュニティソーシャルワーク II	3		
	ケースワーク	3	竹之内章代 (東北福祉大学総合福祉学部教授)	
	社会保障制度の新たな動向 I	3	阿部裕二 (東北福祉大学総合福祉学部教授)	
	社会保障制度の新たな動向 II	1.5	宮城県	
		1.5	仙台市	
コミュニケーション基礎論と ICT 活用	3	坂本泰伸 (東北学院大学情報学部教授)		
必修科目	データによる社会調査・分析(社会疫学) I	3	鈴木寿則 (仙台北百合女子大学人間学部教授)	
	データによる社会調査・分析(社会疫学) II	3		
	データによる社会調査・分析(ライフストーリー聞き取り) I	3	黒坂愛衣 (東北学院大学地域総合学部教授)	
	データによる社会調査・分析(ライフストーリー聞き取り) II	3		
	地域の施策と資源理解 I	3	武藤哲哉 ((社福) 宮城県社会福祉協議会地域福祉部共生社会推進課長)	
	地域の施策と資源理解 II	3	早川敏 ((社福) 仙台市社会福祉協議会地域福祉部長)	
	地域社会と CSR(企業の社会的責任)	3	矢口義教 (東北学院大学経営学部教授)	
	組織運営	3	和田正春 (東北学院大学地域総合学部教授)	
	地域福祉活動計画 I	1.5	早川敏 ((社福) 仙台市社会福祉協議会地域福祉部長)	
		1.5	佐々利春 ((社福) 富谷市社会福祉協議会事務局次長)	
	地域福祉活動計画 II	3	増子正 (東北学院大学地域総合学部教授)	
	地域アセスメント	3	森明人 (東北福祉大学総合マネジメント学部准教授)	
	ファシリテーションの理論	1.5	渡邊一馬 ((一社) ワカヅク代表理事)	
	中間報告会(グループワーク)	3	渡邊圭 (東北学院大学情報学部講師)	
	最終報告会(グループワーク)	3	渡邊圭 (東北学院大学情報学部講師)	
	実践技法	地域福祉とファンドレイジング I	3	久津摩和弘 ((一社) 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 理事長)
地域福祉とファンドレイジング II		3		
協働の手法 I		3	遠藤智栄 (地域社会デザイン・ラボ代表)	
協働の手法 II		3		
ファシリテーションの実践		3	渡邊一馬 ((一社) ワカヅク代表理事)	
健康格差論		3	鈴木寿則 (仙台北百合女子大学人間学部教授)	
コミュニティビジネス		3	吉澤武志 ((一社) 筆甫地区振興連絡協議会事務局次長)	
臨床宗教学(聴くことのカ-カフェでもんくの事例から)		3	金田諭應 (通大寺住職)	
対人コミュニケーションと心理的援助		3	臼倉瞳 (東北学院大学人間科学部准教授)	
発達障がい者支援		3	皆川美雪 (宮城学院女子大学学生相談室准教授)	
ソーシャルワーク・スーパービジョン		3	塩村公子 (東北福祉大学名誉教授)	
認知症の理解と地域支援		3	石原哲郎 (脳と心の石原クリニック)	
特論演習		特論演習:高齢者支援と地域社会	3	西澤英之 ((一社) 宮城県社会福祉士会常務理事・事務局長)
		特論演習:生活困窮者支援と地域社会	3	後藤美枝 ((一社) パーソナルサポートセンター自立相談支援部長)
	特論演習:子育て支援と地域社会	3	小岩孝子 ((特非) FORYOU にこにこの家理事・事務局長)	
	特論演習:障がい者支援と地域社会	3	伊藤清市 ((社福) 宮城県障がい者福祉協会副会長)	
	特論演習:精神障がい者支援と地域社会	3	菅原里江 (東北福祉大学総合福祉学部准教授)	
	特論演習:SDGs と地域社会	3	紅邑晶子 ((一社) SDGs とうほく 代表理事)	
	特論演習:災害とコミュニティソーシャルワーク	3	渡邊圭 (東北学院大学情報学部講師)	
	特論演習:三次救急病院からの地域移行支援	3	澤井彰 (仙台市立病院)	
	特論演習:支援技術を活用した障がい者支援	3	高橋俊史 (東北福祉大学総合マネジメント学部講師)	
	事例研究	事例研究:仙台市におけるコミュニティソーシャルワーク	3	小川琢也 ((社福) 仙台市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係長)
事例研究:南三陸町におけるコミュニティソーシャルワーク		3	高橋吏佳 ((社福) 南三陸町社会福祉協議会総務課長)	
事例研究:柴田町におけるコミュニティソーシャルワーク		3	相原美由紀 (柴田町地域包括支援センター管理者)	
事例研究:地域活動とコミュニティソーシャルワーク		3	増田恵美子 (富谷市 Narita マルシェ)	
事例研究:成年後見制度とコミュニティソーシャルワーク		3	千脇隆志 (社会福祉士事務所いろは)	
事例研究:東京都豊島区におけるコミュニティソーシャルワーク		3	田中慎吾 ((社福) 豊島区民社会福祉協議会共生社会課長)	
事例研究:ボランティア活動支援の実践	3	渡邊圭 (東北学院大学情報学部講師)		

専門実践教育訓練給付制度をご利用される方は、受講開始日の2週間前までにハローワークに書類の提出をする必要があります。
ハローワークでの手続きは、受講決定前に行うことが可能ですので、制度利用を検討される方は、お早めに手続きをお願いいたします。